

トンガ王国における学校歯科保健プログラムの変遷

○河村康二^{1, 2)}, 河村サユリ^{1, 2)}, 竹内麗理^{2, 3)}, 遠藤眞美^{2, 4, 5)}, 田口千恵子^{2, 6)}, 小林清吾^{2, 6)}

¹⁾カワムラ歯科医院

²⁾ 南太平洋医療隊

³⁾ 日本大学松戸歯学部口腔分子薬理学講座

⁴⁾ 九州歯科大学生体機能制御学講座
摂食機能リハビリテーション学分野

⁵⁾ 日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座

⁶⁾ 日本大学松戸歯学部社会口腔保健学講座

【要約】

南太平洋医療隊は、1998年よりトンガ王国（以下トンガ）において学校歯科保健プログラム（マリマリプログラム）を中心としたボランティア活動を開始した。現在はトンガ保健省の自立したプログラムにまで成長し、2006年からはJICA（国際協力機構）との連携で小学校を統括しているトンガ教育省をも巻き込んだ活動へと強化され、トンガ全域の公立小学校で行われ順調に推移している。

【緒言】

トンガは南太平洋ポリネシアに属し、人口10万、南北950Kmに大小170の島々で4つの諸島を有し、他国からの援助で国を維持する経済中進国である。1998年よりトンガ保健省に働きかけ、小学校におけるフッ化物洗口を中心に歯科保健指導等を行う学校歯科保健プログラムを開始した。初期の調査（2000年）では、小学6年生のDMFTが男子4.10 女子5.48であった。2007年の調査では、プログラムを6年以上実施した小学6年生では平均DMFTは男子1.48 女子2.10と軽減され、う蝕罹患率は89%から70%と減少した。2008年の調査でフッ化物洗口によるう蝕予防効果は、口腔全体で54.2%¹⁾であった。児童はフッ化物配合歯磨剤を使用し、日に2回以上歯磨きをしており64%の児童は就寝前に行っていた。一方、甘味飲料水、甘味食を就寝前に摂取

する者60%であった。自立したプログラムに成長したが、上記の間食習慣は継続し、乳歯う蝕は放置された結果、1年生児童における平均dftは8本と改善されず、器材の自主調達と人材不足も心配された。12年間の活動の変遷と今後の新たな取り組みについて報告する。

【方法】

南太平洋医療隊は、活動に向け器剤、薬剤、巡回車を寄贈し、トンガ人歯科スタッフは予防歯科室と予防歯科チームを立ち上げ活動を開始した。南太平洋医療隊と予防歯科チームは医療従事者、教師、児童対象のワークショップや町でオーラルフェスティバルを繰り返し開催し、能力向上を図った。活動の効果を確認するために定期的に歯科検診や生活習慣に関する調査を行い、トンガ人歯科スタッフと成果を共有し、歯科保健マニュアルや教材を作成することとした。

【結果】

トンガ保健省、教育省、JICA、南太平洋医療隊は、2010年2月よりマリマリプログラムの更なる強化を図るため、新たに草の根技術協事業「トンガ王国における学校歯科保健活動向上の為のプロジェクト」を開始した。1. 低年齢児童の乳歯、幼弱永久歯のう蝕を軽減するため、予防歯科室、地域保健センター、幼稚園で歯科保健指導、フッ化物歯面塗布とフッ化物洗口の推進、初期の乳歯う蝕に対し薬剤塗布（サフォライド）等を行う。2. 母子歯科保健活動 3. 関係者の能力向上を図るため歯科保健マニュアルを作成し、新たな担い手をも育成する等である。これに伴い、トンガ歯科スタッフは、教育省と話し合い、歯科スタッフ、教育省管理者、教師からなる歯科保健マニュアル、教材を作成する編集委員会（構成員11名：歯科スタッフ5名、教育省6名）を自ら立ち上げた。またトンガ本島では予防歯科チームを1編成3名から2編成6名に増加し施設の巡回を強化した。児童には寄贈された歯ブラシを50セントで提供し、マリマリプログラムの充実に向けた資金として利用して

いる。乳歯う蝕、幼弱永久歯う蝕を軽減するため、地域保健センターで行う母子保健システムの中で、幼児に対し歯科保健指導とフッ化物歯面塗布を開始し、離島では幼稚園においてデンタルセラピストが乳歯初期う蝕に対し薬剤塗布による治療を開始し併せてフッ化物歯面塗布を実施している。

【考察】

南太平洋医療隊の活動は、トンガ王国に受け入れられ、歯科スタッフは概ね自立しマリマリプログラムを推進するようになった。継続した活動により問題点を共有、把握でき、新たなプロジェクトを共同で計画実施中である。経済的に自立できない国において、フッ化物応用を中心とした予防歯科プログラムを推進する事は、安価で安全な予防歯科システムを提供でき、歯科医療制度に貢献し国民の口腔の健康に寄与できる。

【参考文献】

¹⁾ Kawamura K, 他: Oral Health Promotion for Schoolchildren in Kingdom of Tonga. The First Asia-Pacific Conference on Health Promotion and Education 388: P-01-18 2009

・キーワード

- 1) 国際協力
- 2) 自立支援
- 3) フッ化物応用